

NEW HOUSING JOURNAL

VOL45

8
AUGUST

2012

新住宅 ジャーナル

プレカット市場最新レポート



何だ！この建物は 鉄筋ビル一人で建てて7年目

東京都港区三田、山の手の一等地で一人でビルを作っている人がいる。建物上部にむき出して飛び出した鉄筋。壁面に積み上げられた天然石。

岡啓輔氏（建築家・一級建築士）は、1965年九州柳川生まれ。住宅メーカー勤務後、土工、鳶、鉄筋屋、型枠大工など現場経験を積み、1995年から2003年まで高円寺で「岡画廊」。2004年11月、東京三田にて鉄筋コンクリート製の小さなビル「蟻鱒鳶ル」（アリマストンビル）を12坪の土地で建て始めた。

建物は地下1階、地上3階の鉄筋コンクリート造。1年かけて穴を掘り、深さ3メートルの地下室を作った。建築作業はほとんど一人作業。コンクリートの打設では70cmずつ箕で運んで型枠に流し込む。現在は2階の床が完成したばかり。壁といっても平らな面があるわけではない。地下を掘った時に出てきた大谷石や近代以前の東石と思われる300kgの石などさまざまな天然石が装飾用に取り付けられている。入口にはしっかり確認済証の札が立てられている。耐震偽装事件の告発で有名となったイーホームズが性能評価機関。建築ファンの若者が見学に訪れており、岡啓輔さんが時折考え込みながら装飾用の天然石の由来について語っていた。